

光一中だより

教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校

校長 豊田 貴志

令和8年度 第2号

令和8年5月18日

さつき 「五月晴れの空の下で」

校長 豊田 貴志

新緑が鮮やかに映える季節となりました。空高く澄み渡る「五月晴れ」に、初夏の訪れを感じます。もともと「五月晴れ」は、旧暦5月、現在の梅雨時期の晴れ間を指す言葉でしたが、今ではこの時期の爽やかな青空を表す言葉として親しまれています。また、旧暦5月は「早苗月」とも呼ばれ、田植えを始める季節を意味します。自然とともに歩んできた日本ならではの言葉には、季節を大切に作る感性が感じられます。



さて、6月6日（土）に予定している運動会に向けた練習が始まりました。校庭からは、練習や応援の音が響き、学校全体が活気に包まれています。始業式や朝礼など、さまざまな場面で「上級生を見習っていこう」という話をしています。中学校では、上級生の姿そのものが学校文化をつくります。あいさつの仕方、集団での行動、仲間への声掛け、行事への取り組み方など、先輩たちの姿は自然と下級生へ受け継がれていきます。

運動会は、そうした「上級生の姿」が最もよく表れる行事の一つです。特に3年生は、競技だけでなく、係活動や準備、後輩への助言など、学校全体を支える役割を担います。一生懸命に取り組む姿、仲間を励ます姿、最後までやり抜こうとする姿は、1・2年生にとって大きな手本となることでしょう。また、1・2年生にとっても、先輩の姿から学び、自分たちの成長につなげる大切な機会です。「来年は自分たちがこの学校を支える」という思いをもちながら取り組んでほしいと思います。

運動会は、勝敗だけを競う行事ではありません。一人一人が自分の役割に責任をもち、仲間と協力しながら、一つの行事を創り上げていくことに大きな意味があります。練習の過程では、思うようにいかないことや苦しい場面もあるかもしれませんが、その経験こそが、皆さんを大きく成長させてくれるものと考えています。



これから気温や湿度が高くなる日も増えてまいります。学校でも安全面や健康管理に十分配慮しながら指導してまいりますので、ご家庭でも睡眠や朝食、水分補給等へのご協力をお願いいたします。運動会当日は6月ですが、生徒たちが「五月晴れ」の空のように晴れやかな表情で力を発揮してくれることを願っています。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。